

明治末期の

神戸

木村
え・津高和毅



九

岡山で汽車にのつたのは、きっと夜の十二時ごろ

ろだったのだろう。神戸についたのは白々と明けかかりながら、まだ薄暗も、いくぶん低迷して残っている早昧であった。明治三十九年三月の試験やすみ。きっと二十五、六日の午前五時ごろではなかつたか。

私は高等小学校の二年をおえて三年になつた時で、数え年十三才の春だったのだ。そのころは、尋常科四年、高等科四年の小学校八年制度だった。神戸の第一印象として、今ものこつているのは、次第に明るくなつてくる目の前に、無限の大きいガラス盤のような輝きをもつて、展開されてくる目ざましい景観だった。

「これが海だな」

と私は心の中にうなずいた。

私の郷国は美作で、中国地方でただひとつ、四境どこも海に接していない山国である。だからこの年まで海は見たことがなかつた。私ばかりではない。学校で先生が、

「海をみたことのある者?」

といつても、同級三十四、五人のうち、手を上げた者はひとりもない始末だった。

その級友たちのなかで私がまっさきに海を見たのだから

「よし、帰つたら自慢してやろう」

と、大得意になつたこと、もちろんである。

日露戦争は、前年の明治三十八年に終つて、翌三十九年といえば、すなわち戦勝の第一年。

それを記念して、大阪で戦勝記念博覧会がひらかれる。それを見るために、姉に連れられて旅に出たのだ。

この姉は、薄田泣堇の「公孫樹下に立ちて」という有名な詩を献ぜられているので有名な津山の竹内女学校というミッショニ・スクールの出である。そのころ津山には、県立女学校がまだなかつた。

そこを卒業すると、岡山に女子師範学校が初めてできたので、今度はそれに入つて、その第一回

の卒業生として、県内では大へん珍しがられる女

だ。

の先生だった。村に「束髪」を初めてもちこんで、近隣の百姓の娘さんたちに結つてやつたのもこの姉だった。

当時のハイカラだったのだ。

どういうわけだったのか知らんが、神戸から大阪へ、汽車でのりつけば、わけなかつたはずだのにここから電車にのりかえたのである。

始発の停留場までゆくと、私たち姉弟をからかうように、電車は出てしまった。

いなかの汽車のことを思つて、また二時間ぐらい待たねばならないのかと思つて、がつかりしていると、すぐかわりの電車がきたのには、おどろいた。

この時にもつた神戸の印象は、海と電車とこのふたつだけである。私は小学校を卒業し、その翌年上の学校にはいる目的で、また出てきた。早く中学にはいった級友は、もう二年になつてゐる。それにおくれたくないので、どこかの私立中学の編入試験をうけるつもりで、大阪の桃山中学か、神戸の関西学院を目指においていた。(もつとも結局はどちらにも入らなかつたが)

そして一、二ヶ月、神戸に住んだことがある。

早稲田の英文科出たての兄が、税関で通訳をして友人ふたりとともに楠公横の、つけ物屋の二階ふた間を借り、自炊をしていた。私もそこへころがりこんだのだ。

春さきになると、兄たちはよく、水菜をいれて鯨のすき焼きをした。私が鯨肉をくったのは、そのときが初めてである。明治四十二年の二月ごろ

それから楠公前の文房具へよく原稿用紙を買いにいった。そのころから私は、ひとつばしの投書家だったからである。そこの店番には、ぬけるほど色の白い美しい娘さんがいた。

「あれは、二代か三代前に、外人の血がまじつたアイノコだ」

と兄がいった。なるほどと、私は感心した。

不注意な私のくせで、神戸の街のことは、あんまり記憶がない。

しかし岡本の梅園に花見にいったことは、はつきりおぼえている。

丘の起伏をうめて、見わたす限りの梅の花で、ようもこれほど、梅の木をうえたものとおどろいた。

花下に緋の毛布をしいて、弁当をひらいている家族づれが多かつた。腹がひどくへつてきて、弁当をもたぬ私たち書生づれの一一行は、みんながうまそうに食つているのが、うらやましかつた。梅の芳香に気づいたのも、このころが初めてで、きっと、すき腹にしみこんだのだったであろう。

いま私は、松陰短大に春秋、集注講義にゆく。青谷の千とせ会館という宿舎から、岡本の方を散歩してみても、家がたちつめて、五十年前の岡本明治の終末ごろの神戸は、日本一の清潔なきれいな市街で、洋館がトランプ札をまいたような感じをあたえたが、いまはだいぶ汚れてきた。それでも私は神戸は、少年時代の印象から大すきであ

□ 隨想 □

夕焼雲と工場のエントツ

高木史郎
え・津高和一

印象に残っている。

宝塚で現代モノのミュージカルは無理だといわれていたのを、ここ数年つづけてやっているうちに最近ではそう抵抗もなく受け取られるようになつてきた。

その私の現代モノミュージカルには、いずれの作品にも夕焼雲と工場のエントツの見える場面が必ず現われる。私もひとにそういうわれて気がついたのであるが、どうも私にはそういう映像に郷愁を憶えているらしい。

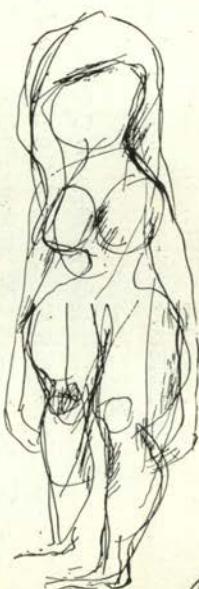
それは私が生まれ育つた所が神戸の西、兵庫駅から五分程歩いて行った所の菅原通りであるからだろうと思う。

子供の頃、遊びつかれてふと遠くの空を見ると遠くのゴム工場のエントツの並んでいる上に、美しい夕焼雲が真赤に燃えていた美しさが今も強い。竹中工務店が神戸の小さな建築屋であった頃、私の父が菅原通りに鉄工所を開いて、その竹中工務店の下請のようなものをさせて貰っていた。そし

私はよく谷内六郎さんの画にも、それに似た場面があるので、一度谷内さんに舞台をやつて頂いたこともある。その「虹色のタンクステン」という作品は私には忘れられぬものとなつていて。

最近その菅原通りの辺りを歩いてみたが、あまりの変りように子供の頃のイメージを求める何ものも無くなつてしまつて、淋しく思った。

神戸の街はどんどんと変貌をとげつつある。昔



わ

て竹中工務店の手によって神戸に次々とビルが建てられていった頃、その下請によって私の父もそれらのビルのサッシュや窓ワクの鉄サクなどを造り神戸とともに伸びて行った。

私の父にとっては神戸のそれらのビルの一つ一つに種々の思い出があるらしく、一緒に海岸通りの辺りを歩いているとよくそれらのビルを眺めては感慨にふけっていたのを思い出す。

子供の時の私の一番の楽しみは年に何回か神戸にたつた一つしかない劇場、聚楽館へ連れて行って貰うことであった。

私はそこで水谷八重子と夏川静江のチルチル・ミチルの「青い鳥」を見たことを今も強烈に憶えている。年何回か宝塚歌劇もやつて來た。また五郎劇のやうなものも見た。

そしてその劇場の天井の美しい天使の壁画を見るのが楽しかった。後になつてその壁画が藤田嗣治の画いたものであったことを知つて驚いた。

小学校五年生の時、家の近くの御藏小学校から神戸の中心地の神戸小学校へ替えさせられた。

郎劇のやうなものも見た。

私はそこで水谷八重子と夏川静江のチルチル・ミチルの「青い鳥」を見たことを今も強烈に憶えている。年何回か宝塚歌劇もやつて來た。また五郎劇のやうなものも見た。

さつた。

また時にはブラジルへの移民船が出る時には旗を持ち、ランチに乗せられて歌を歌いながら見送りたりしたこともあった。

こうしていかにも神戸らしい雰囲気を満喫しながら育つたことを今も心から幸福だったと思つてゐる。私はこの学校にいる間に画や、音楽や、作文の才能をぐんぐん伸ばすことが出来た。これがどんなに私のためになつたかはかり知れない。

ところがそれから神戸二中へ入学したために、それからの五年間の暗黒時代を味あわねばならなかつた。

昔の神戸二中は、パンカラを売りものにした、質実剛健をモットーにしたおよそ非文化的な中学であった。

それがおかしいことには、その非文化的な中学校から神戸の代表的な文化人といえるような、竹中郁という詩人や、日本の代表的画家の、小磯良平、東山魁夷というような立派な方々を送り出してい

る。後には私のようなレビュー屋まで現われたの

だから全く不思議なことといわねばならない。

そのことで一度竹中郁さんと話し合つた時、やつぱりそれは一種の反動のやうなもので、変り種が生まれたのだろうと笑いあつた。

神戸で生まれ、神戸で育つたものは誰も皆、神戸が忘れられない。私なども世界中で神戸が一番いいような気がする。

しかし私はやはりあの兵庫のゴミゴミしたエントツのある工場のある風景、そして夕焼雲のあら煙つた空が私の神戸であり、私の郷愁であるよだ。

□ 隨想 □

変な思ひ出

桐山宗吉（カツトモ）



3月26日国際会館上演の「満重祝百年」の舞台装置、背景のみ（この前にいろいろ出ますが）

〔上〕第一景メリケンハトバ近くの「内地雜居」の場面（浮世絵風に、色彩濃く）

〔下〕第三景櫻公社建立の場で、二の土饅頭と、光圀の建てた碑と樹立（写実風に）

なお、第二景吟松亭は歌舞伎舞台風。第四景山手の家は光と黒とで。ファイナーレ第五景相楽園はドミ・アブストラクト。

ませた中学生であった。大阪出入橋から神戸滝道までしかなかった阪神電車。たしか三十銭だったと覚えてるが、それに乗って教会へ行き、英人伝道師に英語で会話できるのが楽しみ兼学習で月に一回ぐらい通った。

滝道から山手の平野近くまで、もちろん歩いた

もので、市電は滝道から栄町を通って新開地か、兵庫駅までしかなかったと思う。

教会からの帰りに一人で新開地をぶらついたりこわいもの知らずで福原の桜筋やら、元町のせせこましい横丁をさまよったり、これが「マセた中学生」のせいでもある。

新開地の角の聚楽館はたしか大正二年に建ったもので東京の帝劇を模して女優養成所を作り栗島狭衣（すみ子の叔父？）が初代の校長となつたが横田指奈子という一期生のいたことを妙に記憶している。

湊川はすでに埋立てられ寂しいが公園もあり、

大通りには活動大写真なるものも五、六軒。ジンタの鳴るサークルの常設小屋、地廻りの歌舞伎芝居。

楠公社の表門に大黒座（後の八千代劇場）西門には寄席や講釈場にならんで関東煮の屋台店や達磨転がしの店もあった。

福原へ迷いこんで、妓楼の表にはヤリ手が呼び込みをし、娼妓達は格子窓のあるとつきの部屋にならんで化粧などをしていた。すなわちチラシで新しい妓の頭の上に「初店」と書いた紙フダがさがっていたり、そのチラシが廃されて写真になつたのも大正になってからであるが、迷いこんだ私をヤリ手も呼び声をかけなかつたし、娼妓達も知らん顔をしていた、いくら団体が大きくても中学生商売の対象にしてもらえなかつたからだろう。妙なめぐり合せで爾来一生私は娼妓というものを知らずじまいに終つた。変な潔癖。そして引張られでもしたら全力をふりしぼつて逃げ出したろうがそこまで気がつくでもなく、何でも知りたがり、コナン・ドイルなどウロ読みしていた探検家気どりのせいであつたろう。

元町は鈴蘭灯などずっと後で、その曲りくねつた横丁へはいるとヘットやラードの匂いが鼻をつき、西洋一膳飯屋ともいべき、一皿十二銭のライスカレーや十五銭のカツレツがあり、それからもちろん高架になつていない国鉄で、今の元町駅の少し東に三宮駅があつて、そのトアロードの踏切の南角にパウリスターができていた。

一ぱい五銭のコーヒは中学生にとつて無上のハイカラさで、そしてロシヤの水兵などが輪になり歌いながらウクライナ民踊（今にして思えば）に

おどり興じていたり、商館の若い外人に英語で話のしかけてジロリと見られたり、しかしコーヒの習い始めでもあつた。南京街から元町の、その三、四丁目ともなれば横丁や裏通りに花限の姉ちゃん達の屋形があつて昼間でも稽古三味線の音が表へもれていた。六つから踊りを習つていた中学生はその稽古をヘタやあと生意氣だつた。

花限では光村利藻大尽が写真道楽で、後の照葉（南地と東京で鳴らした美貌の妓、今の京都祇王寺庵主）がいて、その写真を着色絵ハガキにして売出したり、そんな噂をその頃盛大だつた又新日報などという新聞が仰々しく書いていた。後年大正末期にこの又新日報へ数え年二十八で社会部長にしてもらって神戸へ来て以来、現在に至るまで住みついたのだからこれも妙な因縁ともいえようか。

明治と県政と神戸開港のいざれもが百年になるので祝賀舞踊「満重祝百年」という舞踊台本を書き、伊藤俊輔県令やら神田兵右衛門、藤田積中、北風莊造のことや楠公社建立、瓦煎餅の発祥など文献を調べたが無論多少のフィクションを加えて劇舞踊にしている。それに明治百年で古いことは皆がいろいろ書いている。しかしどれも文献からだ。私の記憶は末年でしかないが、海岸通り華商がキンコ（ナマコの干物）を梱包していたり、突堤がなくてメリケン波止場だけだつたり、正午にドンを鳴らす大砲があつたり、そんな話も知る人は少なくなつたろうと思う。エラいとしより臭いことを書いたがまだ若いつもりでいる。



— 25 —

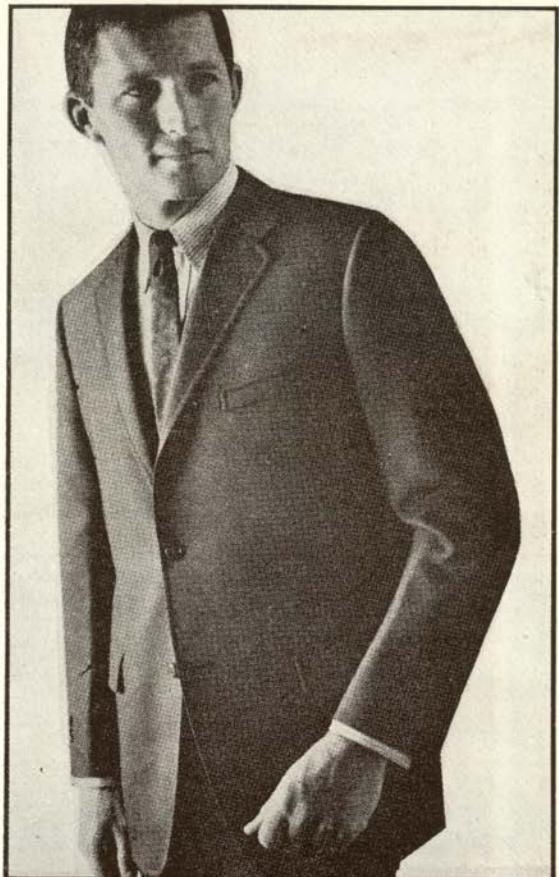




日本販売元

元町バーゲン

神戸・元町 東京・日本橋・白木屋



O-SHIBATA
柴田音吉洋服店



神戸・元町通4丁目 神戸 34-0693
大阪・高麗橋2丁目 大阪 231-2106

未来にはばたく神戸の町に



●出席者

宮崎辰雄<神戸市助役>
横山俊郎<兵庫県企画部長>
小泉徳一<小泉製麻KK社長>
西村雅司<西村写真研究所々長>

水谷穎介<大阪市大都市計画研究室>
貝原六一<洋画家・行動美術>
永田良一郎<永田良介商店社長>
菊水啓輔<菊水総本店社長>

★万国博に間にあう
県政一〇〇年事業に県民会館
司会△編集部▽今年は、神戸市が開港一〇〇年。県の方でももちろん県政一〇〇年を迎えるわけですが、そこで、現在、神戸のかかえている問題、これから神戸はどうしていくべきかなどをザックザックணに話していただきたいと思います。県の方の問題から特に神戸とつながりのあることから話していただきましょうか。

横山 慶応四年五月二十三日に兵庫県が創立されたわけで、それを新暦に直すと一八六六年七月十二日になります。七月十二日の記念式典をどうするかについては、場所だけは国際会館の大ホールといふことで具体的には、まだ決まっていません。記念式典をやるだけでなく、一〇〇年を記念して後世に残るような行事を考えているわけで、県民会館をつくる構想があります。地下二階、地上一〇階で延面積約六千坪、集会室、図書室、講習会のできる教室、国際会議ができる会場をもつたもの。その他、美術館もぜひやりたい。三年前より、一〇〇年史をつくることを計画し、兵庫県史の編さんが進行中で、七月の式典には間に合う予定です。ねらいは、古文書を集めて後世のための資料収集というよ

も、誰でも親しみをもって読める
ような読物兵庫県史というような
内容のものにしたいのです。たま
たま一〇〇という数字に因んで、
郷土の先覚者の「百人集」というのを

五〇〇頁位でつくり簡単にその人
たちの遺績を紹介する。その他、
記念行事として子供病院をつくる
とかリハビリテーションセンター
をつくるとかいう話もあります。
國の方でも一〇〇年記念事業で、
自然森林公園を整備しようとして
兵庫県では、鶴甲山周辺の国有林
の払下げがで、県民の憩の広場
をつくろうと、目下調査中です。

国会 それで、市とも関係がある
だろうと思うのですが、「夢のか
け橋」などはどう?

横山 それはご存知のように、今
岡山県と競争になっていて、昨年
一月には國の方で決定するはずだ
つたのですが、こちら兵庫県の運
動が激しいものだから、もちこさ
れで今年の七月頃には決まるでし
ょ。われわれとしては、ぜひ明
石一鳴門架橋を第一にとりあげて
ほしいと県、市、商工会議所、徳
島県、高知県と一体になって言つ
ています。決まるのは、こちらじ
やないかと思うけれど予断を許さ
ない状態ですね。

貝原 淡路の国際空港というの
具体性があるのですか?

横山 具体性があるのかという質

問は非常にむずかしいのですが、
いずれにしても、大阪国際空港が
行き詰まるでしょう。そこで何ら
かの第二国際空港を考えなければ
ならない。それでいろんな調査を
やつたところ淡路が一番適地では
ないかということで、県と市が一
緒になって推進しているわけです
まだ技術的に調べなくてはならな
いところがありまして、多少時間
はかかりますけど、メドはあると
思います。ぜひ実現したい気持で
すけど。

貝原 そうすると、県政一〇〇年
としては、印刷物とか講演とかは
式典まで間に合うが、あとのは
一〇〇年を規準にして、そこから
記念的なものをつくろうというわ
けですか。

横山 建物は、県民会館が間に合
います。県庁の前に全但がありま
すね、あの間に出来る予定。敷地
が約千六百坪です。

貝原 そうなると、兵庫県が催す
一〇〇年祭は比較的意味ですね。
横山 市の方が、神戸開港一〇〇
年祭を非常に派手にやるというこ
となのでまた、県も対抗して派手
にやるというのでは目立たないか
使うか、その手前の山間部をどう
使うか、太平洋岸即ち阪神間をど
う使うか、それそれをかなり意識
してやることが大事じゃないか。
東西軸の汚水とか、海水浴ができ
ないとか空気が汚なくなるとか、
それを解決しようとなれば、南
北軸は非常に有効です。山間部で
キャンピングをするとか日本海で
海水浴をするとかいうことと、農
業や水産の仕事との調和を大事に
していく必要がある。遅れている

ですから、県民全部が、ああ県政
一〇〇年だ、おめでたいなあとい
うムードはつくりにくいですね。

★兵庫県は南北軸を 積極的に直結させよ

小泉 しかし、もう県というのは
行政単位としては小さくなつて、
一体感というので盛りたてなくて
もいいのではないか。むしろ広げて
むしろ広げていくという方が…。

水谷 東海道メガロポリスの方は
ほっておいても、できることだし
好むと好まさると関らず、そう
いう方向に向っている。その時に
いろいろな都市公害といいます
要素をつくりながら、兵庫県の非
常にいいところは、東西の軸の方
向だけではなく南北の方向に軸を
もつた地域をもつてることで、
それを生かしていかなければなら
ない。例えば、日本海の方をどう
使うか、その手前の山間部をどう
使うか、太平洋岸即ち阪神間をど
う使うか、それそれをかなり意識
してやることが大事じゃないか。
東西軸の汚水とか、海水浴ができ
ないとか空気が汚くなるとか、
それを解決しようとなれば、南
北軸は非常に有効です。山間部で
キャンピングをするとか日本海で
海水浴をするとかいうことと、農
業や水産の仕事との調和を大事に
していく必要がある。遅れている

貝原 兵庫県というのは大きな県

進んでいるというのではなくて、その地域でしかできないことを積極的に見つけていくことが、大事だと思いますね。

司会 特に経済関係の方のご質問はありますか？

小泉 兵庫県というのは、西への関門になってしまいますね。やはり交通に力を入れていかねばならないと思います。陸の方は、新幹線も高速道路もできますけれど、船も技術革新で速くなるのではないでしょかね。そうなると、ますます神戸というは、港があればこそ発展したんだという意味でも、労働力にしても、阪神間というのは西日本に依存してますね。ですから、西への関連というで交通政策を考えていたくのは、私どもとしては、大変ありがたいです。

水谷 瀬戸内海を単なる運河にしてしまえばいいとか、埋立ててしまえばいいとか、埋立ててしまふべきと言われるのには反対で、もっと自然の美しさを生かして使つた方がいいと思う。

横山 「南日本国道」というのがあって、今の淡路一鳴門架橋、四国を東西に走る国道、九州の佐賀の関からフェリーにのつて国道十号線につつながり北九州ないし南九州に行くというこの道路が整備さ



□宮崎辰雄氏



□横山俊郎氏



□小泉徳一氏

れば、山陽道と両方つかえます。四国と九州が神戸、大阪に直結する。こういう構想でいろいろ運動しています。

小泉 大工業の立地というのは、一定の限度があつて裏日本に大工業をつくるというのは無理ではないでしょかね。非常に特殊性のあるものはどんどんできていくと思いますが。

横山 大きなコンビナートというようなものは実際問題として出来ないでしょかね。そういう意味では、阪神間は過密で公害がでている状態ですから、これからは、姫路周辺を中心で大企業が立地されるでしょうね。

小泉 神戸からは出でていますね。出ていかざるを得ませんね。

水谷 原材料系のものは出でていますね。日本の場合、国に資源がないわけですから……。石油にしても鉄鋼にしても、ただ施設をつくつてしまつたから、それを償却する時期までは外にでられない。次はもつと外に出てもいいのではないかという気がする。大都市では地価が高いわけですから、單なる原材料系のものをつくるのは損です。やはり日本の場合は外から仕入れてきて、それをどれだけ加工性の高いものにして国際的に

輸出できるかというのが役割で、それしか勝負はないわけです。

小泉 やはり貿易とか港湾に関係のある産業が、神戸や阪神間にすら分できると思いますね。

西村 この間、出石に松下電器が工場をつくっているのを見て、最初は農村の潜在労働力をねらったんだなと思い、興味をもって聞いてみたわけです。果して農村で人が集まるだろうかと。すると、来なくて困まるというんです。むしろ逆に、なんとかいう大きな会社が東京のド真ん中で一〇〇人集めたとか。

菊水 そういう面で人の問題といふのはこれからも問題になるでしょうね。だが農村とか地方にはいいものが残らないというのは全般的な傾向ですね。秀れた奴は町に出て、どんどん何かをやる。

小泉 兵庫県の北部の人間が、南部の人間と結びつかず大阪、京都までいっている。北部の特色を生かして、それを南部に労働力を求めることができれば問題はないわけですが、神戸や姫路にはきていないというのが実状です。貝原 僕らも裏日本に写生にいく一番感じるのはそれですね。京都が多いですね。

小泉 兵庫県は、西日本の関門といふのながら、兵庫県が顔を向けているのは、いつでも大阪なり京都が多いですね。



□貝原六一氏



□永田良一郎氏



□水谷顕介氏

都なんですよ。岡山県、鳥取県等西日本に顔を向けて言ったなんていうのは、ほんとないわけですよ。それで非常に問題があるんじゃないかと……。神戸が、又兵庫県が商圏を拡張することで、岡山なり四国の方に伸びていくことが多いためです。西日本の関門だという以上、もう少し、西日本のことを主体になってやらなければいけない。金井知事になってから岡山県とも鳥取県とも話し合いになつたようですが、今までそういう機会が少なかったように思います。

★日本のなかでユニークなものとなる美術館建設や芸術活動を

貝原 美術館にしても、これからは広島、岡山を相手にしてつくりないとダメだと思う。そうなると離宮公園ということになる。美術館を都心へというのですけど、東京でも京都でもモーターブールがないですね。モーターブールがないような美術館は、今後ダメになつちます。モーターブールがあると岡山、広島から二時間で自動車でこれる。徳島、香川からもこられる。

水谷 美術館というのも、どういう企画でやつていくのかはつきりさせておかないと、その使い方も

いろいろあるわけですから、この美術館はどういう線でいくのかをバツと決めておかないと、建物だけたてたって仕様がないわけですよ。

僕は美術館運動を外から見ていて分らないけれど、県の美術館というのは何か建物をたてれば話がすむんだというような……。美術館をどう使い、西日本の地方に対してどういう役割を果そうとするのか、ビィジョンが全くでこない

貝原 今のところ、性格づけといふことを県の方で研究している。

ただ絵を並べるだけというのだったら、そういう大きな構想の美術館をつくることはおそらくない。東京都の美術館位の規模をもつてではないか。そうなつたら性格をはつきりきめて、兵庫県の美術センターであると同時に、西日本の美術センターになるべきだと思う

兵庫県の場合、今まで大阪の美術館を使う率が非常に大きいのですが、大阪の美術館の使い方というのがギャラリーシステムなんですよ。要するに絵を並べるだけで、何かコレクションとか、美術館として当然特色をもたねばならない問題が、京都、大阪でも忘れられていない。そういうものは、やはり兵庫県でつくる場合には、考えていかねばならない問題だと思う。ギャラリーだけというのでは意味が



□菊水啓輔氏



□西村雅司氏

ないと思いますね。兵庫県というのは、文化県だとか絵画が多いといわれるのに、そういうものがなかつたですよ。これは大阪に依存しているのがとても大きかつたということになる。

菊水 兵庫県というポイントで考えるか神戸市というポイントで考えるか、とにかくそういうメンタルな施設のないところですね。いわゆる市民ホールというものがほ

とんどない。ようやく体育館ができたけど、それマイクだ、音響効果だとムチャクチャでものにならない。文化人も多いのに、文化の高い都市であるのに、市民ホールがない。だから市民が集まつて演劇をするとか歌をうたうとかといふことが全然ないのを未だに残念に思っています。図書館にしましても、蔵書は変っているのでしょうけど、私達が子供時代に勉強にいた時とそのままなんですね。

小泉 とにかく観念的に言うと大阪市神戸区のような……。(笑い) 水谷 神戸がこれから勝負する時、大阪を対象にしていたらダメとすれば、どうすれば日本の中でも、東京世界を対象にして考え、東京になくて、もし神戸につくるユニークなものとなるかを考えないと、演劇にしたつて絵にしたつてダメですね。演劇の問題にしても、東京に新しいホールがどんどんできて、東京でしかやつていないうものが多いわけです。そういう東京に対して神戸は何も量は大きくなくともいいから小さくても非常にユニークなものをつくるにはどうしたらいいかを考えなくてはいけない。美術館にしてもしかり。神戸の場合、港を通じて世界につながっているわけですから、東京を通じては広がれないことを、神戸を通じて世界に広がれる

ことは何かを考えなければダメだ

小泉 その場合に大阪と神戸を一つに考えた方がいいのではないか
しょうかね。大阪にないものを、例えは六甲山にしても海にしても
ずい分もっている。市民で大阪に

宮崎 神戸の場合、市民が環境がよすぎて、みんな一步つっこんでやろうというところまでいかないのがむしろ問題ではないですか？
菊水 神戸の市民性といいますか神戸人かたぎと申しますか、非常に冷たいですね。

宮崎 そのくせ、ある調査によりますと、その土地に住みたいといいう定着率は、神戸が一番高い。その次が京都でした。それが京都と神戸では全然ちがう。京都では京都と

小泉 せつかくの六甲もあまり活用されていない。割合に文化施設とかいうものに対しては、原口市長さんは港ほど熱心ではないといふか……（笑）。

1ヶ月が出来がある桜戸にきて研究するという風にする。京都は、日本文化館の構想の中で貸書斎といふのをつくっているが、ああいう形のものをどんどんつくっていかないと。文化というのは広く開いて考えないと競争に負けますね。

定着率 <math><91.3\%></math> に見られる合理的市民性

ければどこででも買うという合理的市民性が強い。神戸の人というものは盛り立てる気持とか愛着心と

水木 この冷たい市民性が、小さい街ですのに、日本一の大きな生協ができたり、スーパーマーケットが育つたりする。結局、非常に植民地的なんですね、考え方が。父の代から買っているから、少し高いけどあそこで買おうとかいうのではなく、とにかく新しくて安い

りです。その神戸の人間というの
が、花森安治君に言わすれば、ち
ょっとおつちよこちょいで薄情だ
といいます。それで隣近所うるさ
くない、あっさりしているという
こともある。それと同時に地縁に
はこだわらないんだな。そこにも
つてきて気候的なものもある。そ
れに海があつて山があつて風土が
きれいだということですね。

縁関係というの、3%位で非常に少ないわけです。それで一生涯住みたいという人は、91・3%なんですからね。圧倒的です。日本でこんな街は他にありませんよ。だから、神戸というの、非常にいいということが分ります。たゞそれは神戸に縁故があるから住みたいという感じはない。ここがいいから住むので、住みにくくなつてこそで、どうしたう車上ば

かいうものが少ないんですね。宮崎ある意味では、それが近代的なんじゃないですか。今の調査は、学者が中心になって六大都市の生活環境なり生活度の調査をやつたのですが、その時、京都が割合高いんです。その代り、京都は、いわゆる地縁関係のものとそこに住みたいというのが、だいたい同じ比率なんです。神戸の場合は、地

凤月堂
ゴーフル

神戸っ子にはお菓子通が多い
その鋭い舌感を
永年、魅了し
つづけている
この「味」と
香り……



神戸にそだって 70年

扇子圖 **凤月堂**

元町 3 丁目 TEL ⑧9 2412-5
さんちかスイーツタウン TEL ⑧9 3455

神戸
みよへや

大阪店 阪神百貨店 三階番
電話 大阪御 五五四八番
姫路店 やまとやしき百貨店 三階番
電話 姫路 ⑧9 一二二二
衣裳部 三宮町三丁目柳筋番
電話 ⑧9 五一六五

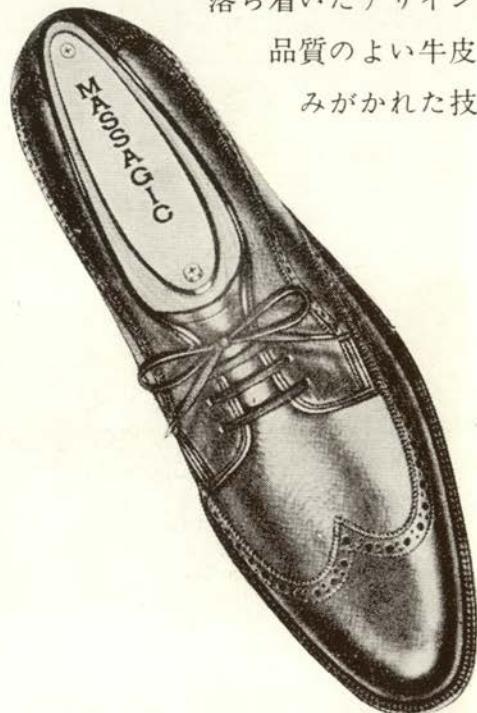
宝石・貴金属・時計



仲庭

さんちかタウン (39) 4593
梅田新道堂ビル北(364)8121代表
桜橋 每日新聞社前(341)0412
新大阪ステーションストア
大阪ロイヤルホテルセイコーショップ

落ち着いたデザイン
品質のよい牛皮
みがかれた技



★靴のオーダーメード

ヨシオカ

神戸大丸前・33/5190・9763

小泉 神戸市で計画しておられる開港一〇〇年の事業をご説明下さいませんか。

宮崎 まだコンクリートのものになつていないので、そういう案があると考へていただきたいのですけれど、式典をやるとか港祭りをいっしょにして五月十五日にやつてしまふとか、それは港祭りとだいたい同じで、違う点というのは、ロッテルダムとの姉妹都市提携をするわけですね。ロッテルダムといふのは、ニューヨークを凌駕して現在、取扱う貨物のトン数が世界一の港です。今まで県はワシントン州、市はシートル市との提携はあつたのですけど、港湾同士の提携というものは初めてなんです。

神戸市といふのは、市はすなわち港湾ももてるのですが、向こうは港は港でポート・オーリティといふ全然別個の機関でやつていて向こうが別にやつているものですから、シートル港と神戸港との提携ということになつていて。そういうのが式典の中では変つたことです。仕事としては記念事業的なものを考へてゐるのですが、一つは貿易センターをつくるということです。商工会議所も貿易協会も中に入つてもらいたい。港関係、貿易関係のものをそこに一堂に集めるというわけです。どの程度のものになるか確定はしてませ

んけど、45億から60億位のものであります。他に諏訪山から再度山修法ケ原にかけて、この一帯を神戸の中央公園にするという計画なんですね。これは記念事業とは別なんですが、埋立てが完成に近いわけすけど、埋立て完成に近いわけで埋立て完成の記念として、これから六甲、有馬にロープウェイを敷いて、六甲開発をやろうと考えています。体育館をつくりたい。また、青少年の体位の向上のため、臨海地帯を埋めたてて、海水浴ができる場所が減りましたからそのお返しとして、プールを増設しようと考えている。公式のブル婦人用、子供用プール、すべての人が入れるような円形の大きなものをつくる。そこに球技場を二面つくるとか、運動公園をつくるとか、これを開港一〇〇年と埋立て完成を記念してつくると計画しつつあるわけです。予算は約一〇〇億くらいになります。

西村 六甲山の上から、埋立てまでケーブルカーを通すとおっしゃつたけれど、埋立てのところまでローラーコースターをつくつてしまふ。山上から一息にサアーッと……（笑い）それから海洋気象台にクリクの12インチの天体望遠鏡があるんですけど、十何年間、ハ

の天体望遠鏡を扱える人が一人だけあつたのですが、その人が転勤してしまつたら、あの天体道具はそのままになつてしまつた。事実私は写真もとつてきましたが、クックの12インチの望遠鏡といえば世界でも珍しいので、あそこに置いておいても仕方がない。それを一つ六甲山に移して、一般人、小学生、高校生に開放するなりしたらよい。これはぜひお願ひしたい。それを国際的にもPRするとか、やはり何か一つのポイントがなければ、人は来ませんな。夢のかけ橋でもできれば別だが。

★神戸は

港湾都市・住宅都市で生きる

小泉 チヨツトありませんけど、私は、神戸の街といふのはご承知のように、この頃のよう工業が大型化してくると、神戸の従来の市街化では工場をつくつていくといふのに対しては、地域が狭すぎるんじゃないいか、そういう風なことで神戸を発展させていくというのに対しては、地域が狭すぎるんじゃないいか、そういう風なことはムリじゃないかと、せいぜい埋立て位で、それもほとんど埋立ててしまつてゐるし、そこで、神戸は、やはり港を中心とする港湾

都市、あるいはこの頃よくいわれる第三次産業すなわち、運輸、交通、サービス、商業を中心とした街にする。あるいは住宅都市にしていく必要があると思う。これをやる場合、一番障害になるのは、横山さんもご存知のようにそういう町では、町が成立つていかないですよ。これにわれわれは矛盾を感じます。みなさんは税金を納めるとおっしゃるけれども、学校をつくりたり上水道下水道をつくりたりそっちの方が高くて。だから、住宅が多くなるとその町は損をするわけですよ。そういう面で、財政制度というのはおかしいですね。財政制度を改正してもらいたいが、負担し、その代わり、工場地帯から取り上げてやるという、こういう考え方をとらないと、住宅都市にならうとしないですよ。ですから、神戸市は将来、住宅都市として生きたいですね。

小泉 神戸はこういう街に動いていくんじゃないかというような、これから見通しはどうですか。

水谷 神戸の場合は、今いわれましたように、住宅地のよさというのを一番大事にしなければなりませんね。傾斜があって、住宅としての環境のよさをもつていて。しかし、北野町にしても青谷にしてもどんどん一建立の家がつぶれてマンションが建っていく。身近

かな問題としてこわいのは、神戸の住宅地のもつてていたよさが、下手をするとつぶれてしまうのじやないかということに対しても、何も手が打たれていないことです。それを、どうして防ぐのかという方法は、そういう建て方ではなくて他によい建て方がありますよとモデルを示すより他に行政的にはやり方がないのではないかと思います。かなり平らに宅地造成してしまいましたけど、鶴甲山なんかもと傾斜地を利用して、コンクリートの階段型のアパートをつくるとか……。すべての部屋から海が見渡せて、人間はたくさん入るし緑はあるし、景色はいいというモデルを一つ近いうちに建ててほしいですね。

★神戸に西日本開発情報センターをつくれ！

水谷 まだいろいろあります。文化施設とか公共施設というのは、官公庁街として一ヵ所に集中するようなり方だったわけです。僕はそれはあまりいいことではないと思う。街の中に川やベルトのように浸み渡っていくことこそいいことだと思っているわけです。上に住んでいて下におりてきて喫茶店やレストランがあつて、そちらに行けば画廊があつて横では小劇場があるとか、そういうことの方

が意味がある。神戸の場合には、幸いにして、そういういい流れをつなぐ広場が、ぽつぽつと町の中にないかということに対しても、何も手が打たれていないのです。学校とか労働会館とか厚生会館とか灘のお酒の会館とか、そういうものを北と南にまわしたい。学校軸をズーッと町中まわしたい。何も沢山お金をかけなくてもできるような気がする。行政機関が文化軸……文化の道のようなアイデアを示してもらいたいですね。文化の散歩道にサインボードを立てとか……。すべての部屋から海が見渡せる。その通りに面している人は、将来、文化の道になりますよと言えば、市民もそれにふさわしい施設をつくる。幹線道路に工場が建ち並んでいくように。そういう一つのシンボル操作というようなものをお願いしたいわけです。次に商業の情報センターとして神戸の問屋さんを作る必要があるだろうと。その場合に、問屋さんというのは、神戸の町の生活のよさを二分に發揮できるものでなければなりません。生活コンビナートというのを積極的に。第二阪神も近いし、車の便もいいわけだから、東灘の中では中途端などところだけれども、あそこにお金はかけなくても、非常にいい生活卸売業というのを積極的に開発していく必要があるだろ

う。それからもう一つ。神戸はやはり西日本の情報を握らなければならぬ。歴史的なよさというのは京都にまかせた方が無難だし、神戸は、これから開発していくものに対する知恵をどうやってつくっていくのかという線で。明石架橋をやっているし、港をやっているし、そういう『開発情報センター』というのを積極的につくってほしい。そういう意味で評価しなければならないのは、調査室の『調査月報—明石架橋資料』です。月刊であれだけのものを出しているというのは実に驚くべきことです。その時データを扱うことになりますと、海洋気象台、神戸大学の建設工学研究所、それに今度できる貿易センター、など三つ位を組み合せ、きめの細かい、これまでの実績にもとづいたものをぜひ。兵庫県では、南北軸の中央に自然の山野をそのままに、子供の国を……子供が創るプラジリアとでもいうものをぜひ。

宮崎 生活センターというようなものに仕立てあげていったらといふお話をあつたわけですが、これで現実にやるとなると、むつかしいと思いますね。今、食品コンビナートをつくろうと、魚市場を中心として、輸送関係もあつめて食品関係の流通センターにしようとしている。小麦粉を入れたらバ

ンになって運ぶような食品コンビナートをつくろうと計画が進んで現実にほとんどその割当がすんでしまった段階なんです。ですから、これを直ちにじゅうたん、カーテン、家具にまで及ぶような大きな生活コンビナートにしていくことが可能かどうか自信がない。アイデアとしてはいいけれども具体的にどういう風につくるかはもう少し研究したいですね。いわゆる地域開発、新しい開発の情報センターというのは、おっしゃる通りに、何か実現させたいですね。

★開港百年祭に市民のカーニバルをやろう！

宮崎 とにかく、神戸は歴史では京都や奈良にはかないこないのであつてちょっとバタ臭い町にせよと言っているわけですよ。開港一〇〇年の行事の中に、今まで懷古行列をやっていたが、今度は、カーニバルを加えるといっているわけです。

宮崎 全員 それはいいですね。大賛成ですよ。

宮崎 クリスマス・イブの時なんか、紳士諸君が仮装したり、お面をかぶつたりして、三宮あたりをウロウロしてますよね。ああいうの少しへ規模の大きいのをやりたいた、また、その審査もやろうじゃないかと……。

永田 世界中の料理が一べんに出せるような屋台店をこしらえようということが以前に提言されてましたね……（笑い）。

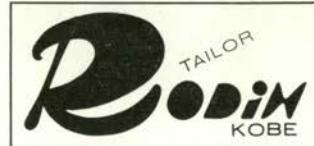
貝原 東遊園地あたりにね。港祭りの日は、オフィス街は休みでしょう。だから、水性塗料はあとで洗つたらとれるのだから、道路に色を塗りつけて（笑い）、コースをきめてみんなで歩いたり、誰とでもダンスができるようなムードをつくつたらいいでしようね。

西村 パリ祭の夜の再現みたいな小泉 港祭りが市役所の祭りであつて、市民の祭りでないという批判が多かつたが、そういうカーニバルとか、本当に市民が喜んで参加できるような催しを考えいたらいいと思いますね。

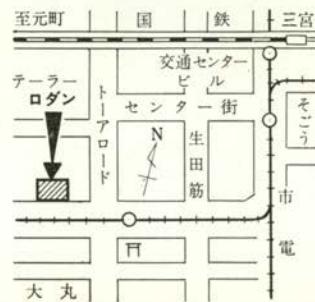
宮崎 カーニバルというのは、幸か不幸か、日本には、そういうのはありません。ヨーロッパでは道路にでも喫茶店がでたり、バンドを聞きながら、コーヒーを飲んだりして、夜の一時、二時頃までやつてますよ。ああいう感じを、何か出せないものかと考えていたのですが、日本では行政的にこれが許さないというのが習慣だった。でも仮りに建設省が怒つてもいいから、思い切って市役所の東側の舗道を広くしてそこに喫茶店を並べろといっているのです。日本では全面舗装ではないので砂け



緑の風が坂道をふきぬける
三月のコウベの町に新しく
エリートのファッションを
創る“テーラー・ロダン”
が開店いたしました。
お気軽にご来店ください。



市電三宮神社電停北側
TEL: 39-2003



イースターに花の帽子を！



マキシン帽子のおもとめは
全国有名百貨店でどうぞ

